

倉掛新聞

倉掛の片岡一美さん96歳

楽しみはテレビや散歩

井原町で一番の長寿



九月十四日、井原小学校体育館で恒例の井原地区敬老会が開かれた。長寿祈願祭などに続いて森下喜久雄公民館長や谷本巖井原市長らが「健康で長生きをして下さい」と挨拶。踊りや唄などの演芸も披露され、お年寄りの長寿を祝った。

出席者には現在井原町で最高齢者の倉掛一四組・片岡正年さんの母親一美さんの姿も。一美さんは明治三

倉掛の85歳以上のお年寄り

- ①片岡一美さん(96) 14組
 - ②森兼チヨノさん(90) 12-2組
 - ③倉橋英男さん(90) 6組
 - ④川相高代さん(90) 6組
 - ⑤松室秀男さん(89) 12-1組
 - ⑥西村留代さん(89) 2組
 - ⑦藤原嘉好さん(89) 13-2組
 - ⑧桑原寿子さん(89) 15-1組
 - ⑨山岡正女さん(88) 7組
 - ⑩浅帷政子さん(87) 3組
 - ⑪川相孝江さん(87) 14組
 - ⑫中島榮さん(86) 15-1組
 - ⑬山岡貞女さん(86) 15-1組
 - ⑭森坂トノさん(86) 10組
 - ⑮森山豊志さん(86) 13-2組
 - ⑯柚木菊恵さん(86) 5-1組
 - ⑰川相於松さん(85) 5-1組
 - ⑱岡本アヤコさん(85) 5-2組
 - ⑲山岡多計さん(85) 5-1組
- ※年齢は平成9年10月1日現在

《発行所》倉掛自治連合会
井原市井原町倉掛
会長/掛橋健吉
《編集》倉掛自治連合会
倉掛自治連合会
倉掛自治連合会
倉掛自治連合会



千昌夫の「北国の春」を歌う清水勝己さん(十二一組)

三年十月二十六日生まれの満九六歳。八人家族で孫は九人、ひ孫は高校一年生を頭

夏だキャンプだ

倉掛少年団&育成会

倉掛少年団と同育成会の六〇名が、夏休みを利用して広島県御調町(みつぎ町)の県立ふれあいの里・青年の家でキャンプを行った。

七月二〇日の当日は晴天に恵まれた。途中に立ち寄った「みつぎグリーンランド」でアスレチックやミニS.Lの乗車などを体験。「ミステリーハウスではまっすぐ歩けず酔ったように気持ち悪かった。川の上流の滝の所まで行ったら少しぬれたけど面白かった」と五年生の橋本薫君。

その後バスで移動し、午



後三時にキャンプ地へ到着した。男女各三班に分かれて活動を開始。まずは夕食のカレーライスの準備に取

りかかる。六年の三原茂樹君は「包丁でじゃが芋を切ったが案外簡単だった」と器用ぶりを発揮。また、五年の谷口大輔君は「飯盒でご飯をたくるときフーフーと吹いて火をおこした。自分達で作ったカレーライスはおいしかった」と上々の出来に満足の様子だった。



おいしいカレーライスが出来るかな?

楽しい思い出いっぱい!!

（写真左）が団員達を前に「楽しい思い出を持ち帰ろう」と挨拶し、趣向をこらした出し物へと移った。

各班ごとのゲームや地区担任の先生方の唄で盛り上がる。そして、育成会員片岡宏文さんの情熱的なギター演奏が夜空を焦がす炎と共に皆の心をそっと揺さぶった。



二日目は約二時間のオリエンタリングにチャレンジし、ライバルの班へ違う道を教えたりしながら十カ所のチェックポイントを探し求めて歩いた。

昼食後、以外と熱の入った宝さがしを最後に、今年のキャンプ全日程を無事に終えた。

肝だめしで「キヤー」

きょう一日を思い出しながらテントへ戻る団員を、やぶ蚊に刺されながら待っていたのは育成会員達のふんする「妖怪」だ。

不意の出現で思わず「キヤー」と叫ぶ少年団員の姿に、大成功とばかり気を良くする大人。かと思えば「ひと玉がすぐに消えてしまっておかしかった」(六年・山岡祐輔君)と失敗を笑われる一場面も。

やがて就寝時刻は過ぎ夜もふける。だが「遅くまで色々な話をして楽しかった」と語る六年の片岡理子さんや「大きな声で歌っていたら見回りのおじさんが来た。寝たふりをしていたら本当に寝てしまった」と河田和美さん、山岡悦子さんが振り返るように、少年団キャンプの愉快で長い一夜は昔も今も変わらない。

リーグ戦とトーナメント戦の2冠



念願の初優勝

倉掛ソフトボール同好会

今年で二〇回を数える井原ソフトボール同好会リーグ戦に参加した倉掛チームが念願の初優勝を遂げた。本大会は五月から八月までの四ヶ月間、各地区の八日曜を利用し、各地区の八チームが二試合づつ戦い、勝率で順位が争われる。加盟以来十二年の我が倉掛同好会も他チームに負けじと奮闘した結果、遂にこのたびの栄冠を勝ち取った。最近各チーム共に若返りつつあり、飛び抜けた選手のない倉掛は当初苦戦が予想されたが天候も味方しての快進撃。終わってみればどの試合も楽勝だった。また、九月に行われたトーナメント大会でも優勝するなど二冠を達成した。

今シーズンの勝利を振り返り、倉掛同好会の山岡和男会長と西村敏明監督は「チームワークの良さ」を強調している。

(取材・妹尾一成)

一緒にゴルフを

楽しみましょう

倉掛ゴルフ同好会(山岡和男会長)では、十一月十六日に井原ゴルフ倶楽部で開く親睦コンペの参加者を募集している。

本会はゴルフを通して地域の人の交流を深めようと平成五年より発足。コンペは年二回開催され今度が九回目となる。現在の会員は三五名。入会金は千円でコンペの会費は三千元。詳細は妹尾純志さんまで。(☎八二二二七)

倉掛の藤原達一さんが大会の実行委員長を務める「第一回モンゴル国際マラソン」へ参加するため、八月八日、首都のウランバートル空港へ同行の人達と共に降り立った。

辺り一面に広がる大草原と冷たい空気が「アジア大陸へ来たなあ」と感じさせる。私たち日本人にもよく似ているモンゴル人や街の建物は、アジア系国家の雰囲気を感じさせている。自身、未開拓の地へ興味を抱いていたこともあり、モンゴルを訪れたことが嬉しかった。

モンゴルを訪れて

倉掛16組 川田昭典

さて、肝心のマラソンの方は五kmの部に出場したが、日頃走っていないせいもあり、しんどかっただけ。しかし、閉会式後の完走パーティーには現地モンゴルの人達も同席し、共に交流を楽しんだ。言葉は通じないものの、やがて打ち解けて親善友好も図られ、別れる時には言いたい事がない寂しさを感じた。日本ではとても見られない星空の美しさが当たり前のモンゴル。雄大な緑の草原の中で馬や羊と共に、遊牧民が自然へ溶け込みゆったりと暮らしていた。

頑張れ! 倉掛

井原学区少年団球技大会 6/29

男子ソフトボール3位
女子ポートボール2位



善戦し二位の表彰を受ける倉掛の女子チーム

陸上短距離で大活躍

倉掛の竹田健次君(中三)

小学校時代から陸上競技に取り組んでいた井原中学校陸上部三年の竹田健次君(倉掛十二二組)が、県



八月には八百メートルで井原中始まって以来の全国大会へ出場するなど部員の主軸として活躍中。九月に行われた県ジュニア選手権の百メートルで優勝を飾った。

《倉掛ほっと情報》

9月28日に井原小学校の運動会が開かれた。全校418名の児童が、赤・白・青・黄の四つの組に分かれて競い合う四色対抗戦では青組が優勝。また、PTA種目では倉掛地区が優勝と、いずれも先日亡くなった倉掛の川相尚子さん(4年)にかかわりの深いチームがそれぞれ優勝した今年の運動会でした。

尚子さんのご冥福をお祈りします。

(井原小学校だより「すずかけ」より抜粋)

今年度の溝掃除で倉掛から除去した側溝の汚泥の量は、公共下水道の設置以後減少しているものの推定で約8トシ。各戸の協力で道路脇に積まれた土のう袋を、毎年各組の自治会長と自治連合会が、井原市や建設業者のダンプカーを借りて運搬処理を行っている。